

## 令和元年度に実施した移動支援の実証実験について

## 1 検討経過について

## (1) 検討組織等

## ①庁内プロジェクトチーム設置（座長：副市長）

平成 29 年 4 月に設置され、地域情報、他自治体事例等を共有し、移動支援の方向性について検討した。

## ②移動支援のあり方を考える勉強会

平成 30 年 4 月に設置され、令和 2 年 7 月までに、11 回開催し、地域事情、交通関係法令による制限等の把握、ワークショップ実施による地域課題及び需要の整理等を行った。この勉強会の成果を踏まえ、令和元年度にはタクシーの定期運行の実証実験を行い、実験結果で得られた課題に対応した新たな移動支援を検討する段階だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、勉強会における検討は休止となった。

## (2) アンケート調査

平成 29 年 7 月～8 月に外出の際の移動手段についてのアンケートを実施した。

内容：よく使う移動手段、外出時の困りごと、目的（買物・通院・他）別の行先、頻度等

## 2 実証実験について

## (1) 概要

## ①期 間 実施期間令和元年 6 月 17 日（月）から 9 月 14 日（土）まで

※利用状況により、実験期間が、当初の予定(9/28 まで)より 2 週間短縮

## ②対 象 者 【令和元年 6 月 17 日から 7 月 31 日まで】

おおむね対象地域の住民で、65 歳以上、妊娠中、3 歳未満児の保護者の申請に基づき利用者カードを発行。

【令和元年 8 月 1 日から 9 月 14 日まで】※8 月から対象者を拡大

おおむね対象地域の住民で、65 歳以上、妊娠中、その付き添い、小学生と同行する保護者など、「地域内からのお出かけにお困りの方」からの申請に基づき利用者カードを発行。

※いずれも、利用者カード保持者の介助、付き添いも利用可

- ③運行方法
- ・決められた乗車場所をタクシーが行き来する運行（概ね 10 分間隔）
  - ・市内タクシー事業者 2 者と協定締結（収支差を補助金として交付）。
  - ・決められた乗車場所のみ乗車可能、ルート途中からの乗車不可。
  - ・駅前や地域内の「降車可能範囲」で降車可能。

- ④車 両
- ・タクシー事業者が所有するセダン型で運行。
  - ・バスのように最大 4 名まで乗り合い。
  - ・乗客が多くて乗れないときは、次の車両に乗車を依頼。

- ⑤運行時間 午前 10 時～正午、午後 2 時～4 時

⑥ルート等 下表のとおり（ルート図の詳細は別紙）

| ルート名  | 南町・向台町ルート                  | 柳沢地域ルート                    | 西武柳沢駅ルート                  |
|-------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| ルート詳細 | 南町地区会館～田無柳沢<br>児童センター～田無庁舎 | 新柳沢団地内公園～柳沢<br>第一児童遊園～田無庁舎 | 柳沢第三市民集会所～西<br>武柳沢駅南口駅前広場 |
| 運行曜日  | 火曜日、金曜日                    | 月曜日、木曜日                    | 水曜日、土曜日                   |
| 車両台数  | 2 台                        | 2 台                        | 1 台                       |
| 運 賃   | 300 円                      | 300 円                      | 150 円                     |

⑦そ の 他 令和元年8月1日号市報折込にて、移動支援の実証実験期間中のみ、一世帯一回限り無料で試乗できる「実証実験試乗券」を付きの「第5号お出かけ支援通信」を対象地域へ全戸配布した。

(2) 実験の結果

①月別利用者（単位：人。（ ）は、1日あたりの利用者数。）

| ルート       | 6 月         | 7 月         | 8 月         | 9 月         | 合計           | 地域→駅 | 駅→地域 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|------|------|
| 南町・向台町ルート | 10<br>(2.5) | 26<br>(2.9) | 34<br>(3.8) | 12<br>(3.0) | 82<br>(3.2)  | 53   | 29   |
| 柳沢地域ルート   | 18<br>(4.5) | 20<br>(2.2) | 45<br>(5.0) | 24<br>(6.0) | 107<br>(4.1) | 76   | 31   |
| 西武柳沢駅ルート  | 7<br>(1.8)  | 9<br>(1.0)  | 11<br>(1.2) | 16<br>(4.0) | 43<br>(1.7)  | 21   | 22   |
| 全ルート合計    | 35<br>(2.9) | 55<br>(2.2) | 90<br>(3.3) | 52<br>(4.3) | 232<br>(3.0) |      |      |

②運行補助金

|                | 令和元年度       |               |
|----------------|-------------|---------------|
|                | 実証実験        | はなバス          |
| 利用者数           | 232 人       | 1,282,485 人   |
| 運行収入(広告除く※)    | 49,800 円    | 164,199,623 円 |
| 運行経費           | 3,744,000 円 | 298,617,039 円 |
| 運行補助金          | 3,694,200 円 | 134,417,416 円 |
| 利用者1人あたりの公費負担額 | 約 15,923 円  | 約 105 円       |
| 公費負担割合         | 約 98.7%     | 約 45.0%       |

☆計算方法

**運行補助金**

運行経費-運行収入

**利用者1人あたりの公費負担額**

運行補助金÷利用者数

**公費負担割合**

運行補助金÷運行経費

※運行収入は、実証実験を条件を揃えて比較するため、はなバスの広告収入を除いた金額とした。

(3) 実証実験終了後のアンケート調査・ヒアリング調査結果について

利用者からは「便利だった」「使いやすかった」等の肯定的な意見が多く得られた。一方、週に2日の運行に関しては、「使いにくかった」との意見が5割を超え、利用時間帯に関しても「使いにくかった」との意見が半数近くを占める結果となった。

また、利用登録者が利用しなかった理由では、「運行曜日が合わない」「運行時間帯が合わない」「現在は必要ない」の順で回答が多かった。

さらに、未登録者が登録にいたらなかった理由は、「利用対象者でない」を除くと、「現在は必要ない」「時刻表がなくいつ乗車できるかわからない」「運行曜日が合わない」の順で回答が多かった。